

特殊金属加工スペシャリストチーム「Demold(ディモールド)」

安全性や安定性を確保した加工難度の高い条件下で精微な形状を具現化

株式会社オカムラの展示品制作に協力

富士工業株式会社(神奈川県相模原市／厨房機器製造・販売／代表取締役社長 柏村浩介、以下 FUJIOH^{※1})の特殊金属加工スペシャリストチーム「Demold」は、株式会社オカムラの展示品制作に協力しました。加工難度の高い条件下で精微に作られた本展示品は、日本製鉄株式会社主催「ブリキのリデザイン展」で披露されました。

※1 FUJIOH は、富士工業グループの企業ブランドです。



Demold が制作協力した展示品

左:「en」右:「CONI」

今回、Demold は株式会社オカムラがデザイン・出展した展示品 2 点の制作工程を担当しました。板厚わずか 0.23mm のブリキ材を使用したため、加工時に変形しやすく慎重な取り扱いが必要でしたが、高精度な曲げ加工技術を駆使し、要求される品質を確実に満たしました。また、金属を曲げる際には、元の形状に戻ろうとする現象が生じることがあり、戻りを見込んだ角度で曲げることで設計通りの形状を実現しました。

さらに、展示に際しては安全性や安定性の確保が不可欠であり、加工難度は一層高まりました。これに対して Demold では、寸法誤差が製品精度に影響することを踏まえ、専用治具の製作や加工速度の調整など、入念な加工条件を検討しました。これらの工夫により課題を克服し、滑らかな曲線と均一な仕上がりを実現しました。

近年、アルミやプラスチックなど代替素材の普及により、容器としてのブリキの需要は縮小しています。しかし、環境優位性の高いブリキは容器以外の分野でも活用が期待できる素材です。今回の制作協力を通じて、ブリキの用途を空間デザインの領域へ拡張し、持続可能性と造形美を両立しました。

■制作協力品概要

「en」…光の反射や周囲環境の写り込みが印象的な、空間全体を円でデザインしたオブジェ。端部を丸く曲げるカール加工を施することで、触れた際の安全性と構造的強度を確保し、円形状を安定して保持することを可能にしています。一方、カール加工を加えることで円形を歪みなく形成することが難しくなり、接合部に生じる段差の解消も課題となり

ました。これに対し、Demold は専用治具を製作した上で、緻密な調整を重ねた曲げ加工をおこない、端部のカールが崩れることのない美しい円形状となめらかな接合部を実現しました。本作品は、従来歪みやすいとされてきた円形状において安定保持と美観を両立し、空間演出に新たな可能性を提示しています。

「CONI」…ブリキを円錐状に巻き上げた脚を持つテーブルは、金属光沢の美しさと強度の高さを兼ね備えています。しかし、わずか 0.23mm のブリキは変形しやすく、通常の加工では歪みや折れが発生する課題がありました。Demold は、この課題を解決するために円錐形状を維持する専用治具を制作し、美しい仕上がりを実現しました。

Demold は、独自の加工技術でこれまでにない金属表現を提供します。今後も新たな価値創出のため、加工手法の開発に取り組んでいきます。



左:展示の様子 中央:「en」のアップ 右:「CONI」のアップ

■「en」詳細

使用技術:レーザー、ベンダー、3 本ロール

材質:ブリキ

板厚:0.23mm

寸法:Φ2100mmxD300mm、Φ1600mmxD300mm

クライアント:日本製鉄株式会社

デザイナー:株式会社オカムラ

■「CONI」詳細

使用技術:レーザー、ベンダー、3 本ロール

材質:ブリキ

板厚:0.23mm

寸法:Φ480mmxH760mm、Φ300mmxH470mm(円錐部分)

クライアント:日本製鉄株式会社

デザイナー:株式会社オカムラ

■「ブリキのリデザイン展」について

日本最大級のデザイン＆アートフェスティバル「DESIGNART TOKYO 2025」内で開催された「ブリキのリデザイン展」は、『造形思考』をコンセプトに掲げ、日本製鉄とインダストリアルデザイナーの米田充彦氏(ATSUHIKO YONEDA

<NEWS RELEASE に関するお問い合わせ> 富士ホールディングス株式会社 コミュニケーションデザイングループ
TEL: 042-718-5661 E-MAIL: fujioh.cdg@fujioh.com

DESIGN 代表)によって企画されたものです。本展覧会では、日本製鉄株式会社とアーキテクトやインハウスデザイナーのコラボレーションにより、ブリキが持つ「輝度」「軽さ」「加工性」を活かした独創的な作品が展示され、ブリキの新たな可能性が提示されました。また、社会における脱炭素化のニーズの高まりを踏まえ、展示品には環境負荷の低減効果に優れたブリキである、日本製鉄株式会社の GX スチール^{※2}「NSCarbolex® Neutral^{※3}」が使用されました。

開催期間:2025年10月31日(金)~11月9日(日)

会場:兜町 Keshiki 内 “AA” 東京都中央区日本橋兜町 6-5 兜町第 6 平和ビル B1

公式 WEB サイト:<https://www.designart.jp/designarttokyo2025/exhibitions/10791/>

※本展示会は終了しました。現時点での「en」「CONI」の次回展示の予定はございません。

※2 鉄鋼メーカーによる追加的な(スコープ 1 の)直接的排出削減行動による大きな環境負荷の低減があり、排出削減行動に伴う環境価値を一定のプレミアムとして経済価値化することを前提に、削減証書とともに供給する鋼材です。

※3 日本製鉄が実施した追加性のある削減プロジェクトによる GHG(Green House Gas 温室効果ガス)排出削減量又は CO₂ 排出削減量を組織内でプールし、その削減量を任意の製品に配分して証明書と共に供給する鉄鋼製品であり、一般社団法人日本鉄鋼連盟が制定するガイドラインに準拠しています。

■株式会社オカムラについて

自分らしく生きる人を増やし、笑顔があふれる社会へ。株式会社オカムラは人を想い、人が生きる場を創ります。創業以来、ものづくりに対する高い志を持ち、オフィスから商業施設、病院、学校、そして物流施設まで、多様な場づくりへと事業を展開しています。

事 業 概 要:スチール家具全般の製造・販売/産業機械その他の製造・販売/金属製建具取付工事の請負/建築業に関わる付帯工事・設計・製造・販売/商品陳列機器その他の製造・販売/各種セキュリティ機器に関わる付帯工事・設計・販売/各種医療機器その他の機械器具の設計、製造ならびに販売/事務所の環境向上と事務・生産効率向上に関する情報の提供とこれに関連する機器の製造・販売

代 表 者:代表取締役 社長執行役員 中村 雅行

創 始 業:1945年10月

公式 Web サイト:<https://www.okamura.co.jp/>

■「Demold」について

Demold は、FUJIOH のレンジード開発で培った金属加工技術と提案力で、お客様のイメージを具現化するスペシャリストチームです。今までの金属加工技術では考えられなかった多彩な表情の演出を、金型コストを必要最小限に抑える技術を駆使して、多くの建築内外装に採用いただいています。

Demold Web サイト:<https://www.fujioh.com/demold/>

【Demold 過去実績】



夢洲駅

担当箇所	天井パネル
使用技術	自在成形
クライアント	株式会社大阪港トランスポートシステム
設計	大阪市高速電気軌道株式会社、株式会社安井建築設計事務所
製造メーカー	森村金属株式会社「UB システム天井仕様」
材料	長田通商株式会社 バンドクサルデコール SP-07
製作月	2025.01

【富士工業グループ会社概要】

事 業 概 要 : 一般家庭用/業務用厨房機器の企画・開発設計・生産・販売・アフターサービス、空気環境改善に関するソリューションの提案・提供

代 表 者 : 代表取締役社長 柏村浩介

創 立 : 1941 年 12 月



三井ガーデンホテル銀座築地

使用技術	自在成形
デザイン	ZADESIGN.inc
撮影	YAMAMOTO KEITA photographic record
製作月	2024.08



銀座シャンデリア

担当箇所	アルミ押し出し成型パネル レーザーカットパネル
使用技術	逐次成形 微細加工
クライアント	三越伊勢丹
基本設計	三越伊勢丹プロパティ・デザイン
施工会社	鹿島建設／旭ビルウォール
製作月	2020.08



所 在 地: 神奈川県相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号

従 業 員 数: 956 名(連結従業員数)

グルーブ会社: 富士ホールディングス株式会社

富士工業株式会社

富士工業販売株式会社

フジテックメンテナンス株式会社

株式会社ヒートアンドクール

Fujioh International Trading Pte. Ltd.

芙子帝風商貿(上海)有限公司 (Fujioh Trading Shanghai Co.,Ltd.)

Fujioh Marketing Malaysia Sdn. Bhd.

台灣富士皇股份有限公司 (Fujioh Marketing Taiwan Co., Ltd.)

[関連会社] アリアフィーナ株式会社

公 式 WEB: <https://www.fujioh.com>

NEWS RELEASE に関するお問い合わせ

富士ホールディングス株式会社 コミュニケーションデザイングループ

TEL: 042-718-5661 E-MAIL: fujioh.cdg@fujioh.com